

諫早市COMPASS 児童発達支援センター
事業所における自己評価結果(公表)

公表日：令和8年6月24日



		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		3	現在、教員教材は使用していません。	現在、訪問支援において教員教材は使用していませんが、園や学校での様子をみさせていただき、適切な支援をおこなえるよう努めてまいります。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、訪問支援員が1人以上配置と定められております。COMPASSでは資格や経験等を考慮して訪問支援員を配置しております。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		併設している児童発達支援センターと連携し、定期的にリフレクシオン会議をおこない、情報共有や意見を出し合う機会を設けております。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		評価表のご協力をお願いし、保護者様のご意向やいただいたお言葉をもとに改善していけるよう努めております。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		必要に応じて従業者の意見や支援方法等について協議し、業務改善に努めております。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		定期的に法人内で開催される勉強会や、市内の事業所を対象とした研修にも参加しております。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		定期的のアセスメントを実施し、特性や課題、保護者様のニーズを踏まえ、適切な目標設定ができるようにしています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員と会議を開き、検討しております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	2	初回は児童発達支援管理責任者が作成した計画書をもとに支援をおこなっておりますが、更新時には訪問先の意向も踏まえたうえで見直ししていくよう努めてまいります。	定期的に話し合いの場が設けられており、今後の更新時には訪問先の意向も踏まえた見直しをできるよう努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援に関わる職員全員に周知し、支援を進めております。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		標準化されたツールを用いて日々の行動観察や記録をおこない、確認しております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインで示された支援内容の各項目を盛り込んで、具体的な支援計画を作成しております。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画の内容を職員間で共有し、支援をおこなっております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		3	訪問担当職員が決まっているため支援内容の共有が難しい状況ですが、事業所を併用している児童については、事業所での様子も共有するよう努めております。	今後、複数の支援を行う場合には、支援内容や役割分担を確認し、連携を図りながら適切な支援を実施できるよう努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		児童発達支援管理責任者との情報共有をおこなっております。また、リフレクシオン会議をおして併設事業所の職員と共有しております。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先施設の活動を妨げないよう十分に配慮し、訪問支援をおこなっております。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		支援後には記録を取り、職員間で支援の検証、改善につなげております。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリング等で保護者様や訪問先施設に聞き取りをおこない、計画に見直しが必要か判断するようにしております。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		保健・医療・福祉・教育など様々な関係機関と連携する体制を整えております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3	小学校等への進学時には、保護者様のご意向を確認したうえで、進学先との情報共有と相互理解を図っております。	今後、必要に応じてスムーズな就学へと繋がるよう情報共有と相互理解を図ってまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		定期的に法人がおこなう研修会や、市内の事業所を対象とした外部研修にも参加しております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3	積極的な参加はできておりません。	来年度より、参加を予定しております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳の記入や、ご自宅への送迎時に一日の児童の様子についてお伝えをしております。	
	26	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	保護者様の参加できる研修の機会はありませんでしたが、保護者様からご相談を受けた際には、丁寧に助言やアドバイスをおこなっております。	今後、保護者様の参加できる研修の機会等を検討してまいります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に運営規程や利用者負担等について丁寧な説明に努めています。あわせて、質問や不明点がないかを確認しながら進めております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問支援開始前のご挨拶時などに説明をおこなっております。	訪問先施設のご理解を得られるよう、訪問時など対面でのコミュニケーションを通して相互理解に努めております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		支援計画の作成にあたっては、子どもや保護者様のご意向を尊重し、優先考慮の観点を踏まえて作成しております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		契約や更新の際には、保護者様へ支援内容について丁寧かつ分かりやすく説明をおこなっております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		居宅への訪問や事業所において、相談支援をおこなっております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。		3	開催できておらず、交流する場を設けられていません。	保護者様のご意向を伺いながら保護者会等の開催を検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		児童や保護者様からの苦情や相談については、迅速かつ適切に対応するため、苦情受付窓口・苦情解決責任者を設置し、迅速かつ適切な対応が図れる体制を構築しております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		事業所での活動については通信やブログ、SNS等を通して発信しております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		それぞれの特性を理解し、わかりやすい情報伝達手段で意思の疎通を図っております。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		お話を伺って相談を受け、助言や対応を行っております。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		3	調整が難しい場合もありますが、報告書を通して相互理解を図っており、担任の先生とも対話の機会を設けております。	連絡調整をおこない、より一層の情報共有や連携が図れるよう努めてまいります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		活動の様子については報告書や対面での会話を通して共有を行っております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先施設との対話を通して関係性を築き、情報共有をおこなっており、環境面のアドバイスや事業所での様子についてもお伝えしております。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		併設している児童発達支援センターと連携し、各種マニュアルを作成し、定期的に研修・訓練をおこなっております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	3		併設している児童発達支援センターと連携し、適切な安全管理を行っております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		3	これまで訪問先でヒヤリハットの事例は経験しておりませんが、現在のところ記録には至っておりません。	今後、訪問支援時に危険を感じた場合にはヒヤリハットの記録を作成し、再発防止に努めてまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		事業所内において虐待に関する研修を実施し、全職員で虐待防止に取り組んでおります。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		支援計画書に記載しており、やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ書面にて保護者様の同意を得ることになっております。	

